

## 世界連邦日本国会委員会設立経緯

1945年12月 尾崎行雄氏、「世界連邦建設に関する決議案」を提出

1948年8月6日 世界連邦建設同盟（現在の世界連邦運動協会）設立

1948年8月9日 英国議会の中に設立された「世界連邦委員会」のリミトン議長より、賀川豊彦氏に対し、日本の国会内にも世界連邦組織をつくる要請

1949年12月20日、松岡駒吉衆議院議長を会長、田中耕太郎参議院会長を副会長、吉田茂総理・「憲政の父」尾崎行雄氏、賀川豊彦氏などを顧問に創立

# 昭和十九年十月二十日 世界連邦日本国会委員会

## 創設宣言

人類社会の確実な連絡、交通、通信の癡漢、人間相互の連絡の確実化、道徳高潔の向上等により、漸次社会生活の範囲を拡大し、家族、地方、國、民族、國家等の大いに社會を包摶し、國家の構成の概念、人類社会の政治機構は、經濟文流の發展を以て進化する。

從つて、國際社會が國際連盟から國際連合へ進化したことは、過去の國際社會を支配して来たアヌサ一派の支配を克服して、世界平和を實現すべく諸國が努力した結果である。

しかし、このまま國際社會は、國家主義の陣営に立脚し、その構成員である民族、國家各自の幸福を前提とする場合、國家社會の基礎は過激であつて、世界的平和のための手続たる所不外なることがある。かくかく、國際連合は、國際社會の發展をめざす國際組織体ながら、發展をむかへよう。

然るに、各國家の行政と司法との分離をもたらし、全世界の國家と人民を包摶する世界連邦としての人類社會の世界的組織体を改編しなればならぬ。

このままで世界連邦組織の構築は、特に經濟機の開拓と、資源の開拓の關係による海上輸送の發展等で、人類社會が、今日の如き止じて前途が暗く前途が見えない。

故に、かくかく、この世界を求める共同体にて、世界憲法の下に世界政府が創設

され、全國の同胞が統合されるべく、はじめて世界恒久の平和が實現、一法の王政、世界秩序が確立され、公平なる行政機構が樹立され、個人の基本的人権守護より、社會生活における自由和平等が確全に保障され、これを確信する。

今後世界の文明昌盛の途、誠者の間では、國際連合及び本大運動と並行して世界連邦の構造が形勢としてかかわる運動は日に進み、其具体化は急速に進んでゐる。

かく世界の運営が、漸く、由起者として、其事を放棄し、恒久和平と世界政府の確立に全力を擧げて努力することを誓うたかくかく、世界連邦實現の世界的運動に熱意をもつて参加するに付し、前向する運営を義務づけられ、かくかく、

かくかく、かくかく、世界連邦日本国會委員会の意見に付し、全力を挙げて、世界政府の目的に邁進せんことを宣言する所以である。以上

①衆議院議員：松田駒吉、北村櫻郎、山崎裕三、木村大輔、船尾喜二、鈴木嘉男、水谷義郎

猪木勝彦、岡田第一、中山アサ、森辰男、柴澤善亮、今村志朗、少林義太郎、水谷秀吉

戸叶里子、福田昌子、山口シジエ、松本龍、水谷昇、西村栄之、岸本芳雄、千葉常郎

②審議會委員：中井耕太郎、橋本辰郎、福川敬、鶴賀俊、西田天香、高田寛、斎藤豊

星一、木村キタ、高野謙術、井上弘、高木之介、楠見喜男、尾崎行輝、柏木幸治

赤松常子、帆足計、赤木依雄、下条泰彦、瀬戸内工、草野隆用、藤井弓矢、若木洋

野田修作、小杉千子、大山安、次吉善重、今井良、多喜金與、田代忠、鶴見清義。

③監査委員、会長：栗原謙平、鶴見吉彌、鶴見善次郎、新井義長、鶴見宣次郎、尾崎行輝、猪川喜

## 世界連邦日本国会委員会について

### 一、 創立

1949年12月20日、松岡駒吉衆議院議長を会長、田中耕太郎参議院会長を副会長、吉田茂総理・「憲政の父」尾崎行雄氏、賀川豊彦氏などを顧問に創立

### 二、 会の目的

環境保護・平和・世界の絶対的貧困対策など、国家を超えた課題に対応するため、国連をはじめとする国際機関を改革・強化し、国家を超えたシステムを整備して取り組むことを目指して活動している。

### 三、 成果

- ① 2005年衆議院・2016年参議院において、政府が**世界連邦実現への道を探求すべき**との文言を明記した**決議を国会本会議において達成**。
- ② 2007年10月、戦争犯罪・人道に対する罪などを裁くICC国際刑事裁判所ローマ規程に日本が加入するにあたって中心的に活動。
- ③ 国際連帯税の理念普及と実現に向けて尽力、検討を行うことが法律に明記された。

### 四、 主な活動

- ① 関連するNGOと連携しながら、グローバルな課題を取り組む。
- ② イスラエルとパレスチナから紛争で肉親を失った遺児を招き日本の市民と交流する「中東国際交流プロジェクト」に協力。
- ③ 世界連邦全国小中学生ポスター作文コンクールに協力。同コンクールは文部科学省の後援を受け、文部科学大臣賞も授与している。
- ④ 政府に政策提言。ICC加入のように実現した政策もある。
- ⑤ 国際問題・平和・環境に関するテーマの研修会・セミナーなど開催。
- ⑥ 年1度、世界連邦関係数団体（後述）により世界連邦日本大会を主催。例年、外務省・文部科学省から後援。

### 五、 国内の関係諸団体

次の各団体等と協力して活動している。

1. 世界連邦運動協会・・・民間の立場から活動 全国に約50の支部。  
元内閣総理大臣の海部俊樹氏が会長。
2. 世界連邦宣言自治体全国協議会・・・世界連邦都市宣言を行った自治体による組織。  
現京都府綾部市長の山崎善也氏が会長。
3. 世界連邦日本宗教委員会・・・各宗教が宗派の違いを超えて活動。  
石清水八幡宮・宮司の田中恒清氏が会長。
4. 世界連邦文化教育推進協議会・・・文化・教育の面から世界連邦理念の普及を図る。  
東久邇信彦氏が会長。

### 六、 World Federalist Movement

世界の27の国と地域における世界連邦推進団体（当会も含む）により、World Federalist Movementが組織されている。同会は国連の経済社会理事会との協議資格を有している。